

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁
メールニュース2月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

2017. 2. 28

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● 統合カタログの整備について ●-----

これまで当室のカタログ検索は原則リソース別に行う必要がありましたが、開発中のシロイヌナズナクローン総合カタログではAGI codeによる横断検索が可能になります。現在はTF（転写因子）クローンとTACクローン（ゲノムDNA）のみが対象ですが、新年度にはRAFLクローン（完全長cDNA）の追加を予定しております。使い勝手などご意見がありましたらぜひお寄せください。

https://plant.rtc.riken.jp/resource/agicount/agicount_list.html

-----● 日本植物学会 第81回大会（野田）開催について ●-----

日本植物学会第81回大会は東京理科大学 野田キャンパスにて9月8日（金）～10日（日）の日程で開催されます。大会ホームページが公開されシンポジウムの募集も開始されておりますので、どうぞご確認ください。当室も広報活動を行う予定です。アドレスは以下のとおりです。

<http://www.rs.tus.ac.jp/bsj2017/index.html>

-----● シロイヌナズナ種子の保存について ●-----

適切に成熟、乾燥したシロイヌナズナ種子は長期間保存できます。当室では乾燥した種子を低温（4℃）・低湿（相対湿度 20%）の環境で保存していますが、採種してから15年が経過した種子でも発芽率の顕著な低下は認められておりません。水分の侵入さえ防げば、冷凍庫（-20℃または-80℃）や液体窒素タンク中で更に長期間保存可能であることもわかっています。

一方、成熟や乾燥が不十分なまま密封状態にした種子は数年を待たずして発芽力が低下することがあります。また温度や湿度などの保管条件が悪いと加速度的に発芽力を失います。お手持ちの貴重な種子を安全に保存するために、ぜひ当センターへの寄託を検討いただければ幸いです。

❁*:.'° ❁°.'.*:. ❁.*:.'° ❁。.*:. .*❁

理化学研究所バイオリソースセンター
実験植物開発室 提供係
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://epd.brc.riken.jp/>

❁*: ◻ ' ° ❁ ° ' ◻ :*:. ◻ ❁ . :* : ◻ ' ° ❁ ◻ . . :* : ◻ . . :* ❁